

第 26 回アンケート結果 (抜粋)

2. 一般講演 2 : 「共有フォルダから “活動の流れ” を抽出する」

1. スケジュールを元にファイルを参照できるのは有益だと思いました。特に毎年同じ作業を行うものに対して、担当者が変わるケースなど。また私はメタデータベースの文書管理を中心とした研究を行っていますが、導入ハードルが高く、階層フォルダベースの文書管理の親しみ易さ・容易さは重要だと共感しました。

(回答) コメントありがとうございます。普及や定着を考えると様々なハードルがありますので、研究会で意見交換などできればと思います。

2. ファイルの整理の方法として、理に合っていると感じました。ファイルの内容まで踏み込められれば、年ごとの定型部分や特定の年の独自部分など情報が分離でき、組織活動がより明らかにできると感じました。

(回答) コメントありがとうございます。ファイルの内容については、以前、同様のことをやったときに MS のファイル形式の変更についていけずに苦心した経験があり、今回のアプローチでは内容には踏み込まない方法で実施しました。しかしながらファイルの内容についても言及できると精度があがると思いますので、検討してみたいと思います。

3. 同じ活動のくくり方の指針があると良いと思います (同じような・・・)。活動横断的な探索はないでしょうか? (他人⇒他活動はあまりない?)

(回答) コメントありがとうございます。活動の種類やタイプを分類する試みもしましたが、まだ定式化できていないのであいまいなままになっております。ほかで実施された同種の活動で参考にできるものを探してくる、などのアプローチができれば確かに有意義と思いますので、検討してみたいと思います。

4. 近接した研究なので非常に興味深い。

(回答) コメントありがとうございます。研究会で意見交換などできれば思っております。